

# 企業を支える「ビジネスパーソン育成講座」

## 第7回

### 現場改善の進め方

#### 1. 現場改善とは

○良く見ること⇒改善を必要とする現場を見る



確実に観察「ムダ」を見つけ出す力とムダを「排除」する意志



やって見せるスキル

○無駄の排除



やれる環境・知恵を生かす場



少しの教育と多くの訓練

訓練を重ねて、知力・体力を養う必要

○現場を見るポイント

①スタッフ全員で

②同じ現場を全員で

③問題点を数え、考える

④継続する

#### 2. 効果

見ることと、やってみること



本質をつかむ



試みる(試行錯誤)

#### ちょっとその前に

○目で見える管理=見える化

情報をオープンにするだけではダメ

情報の共有化は、相手が見ようという意志の有無次第



意志にかかわらず、見えてしまう状態を作る

**見える化⇒見せる化**

○見える化の効果

①気づきを育む

②思考を育む

③対話を育む

④行動を育む

答えや解説を得れば実行に移りたくなる

### 3. モチベーションアップ

○問題が明確⇒説得力を持つ 問題の存在・改善の意味

考える

↓

①改善すべき現場を見る

②仮説を立てる

③批判を受ける

④即実行

### 4. 成果は後から

プロセスを重視

問題解決の技能と技術的知識 それらのスキルは⇒**改善力**

### 5. 現象の本質を見る

問題解決

①問題に見える化する

②問題分析のための工夫をする

③顕在化した問題を共有する

④部門の壁を取り払う

⑤推論を立て、理論的に原因追究

⑥従来の手法にとらわれない

⑦原因追究⇒現象を正確にとらえること

### 6. 現場に立ってみること

マネージャーたちが率先

組織全体に改善活動の雰囲気を作る

改善の取り組み日を設定

改善活動の継続の仕組みを作り

改善実施提案の発表

## **現場巡回**

改善結果の評価

技術的・経済的な意味合い

## **伝達**

今回は管理間接部門の生産性向上入門

6月9日(木)19:00~21:00